

薬物動態とは？

1名分料金で
2人目無料

一からわかる薬物動態【基礎・入門】

- ◆日 時：2014年8月20日(水) 12:30～16:30
- ◆会 場：カメリアプラザ 9F 会議室【東京・江東区】
- ◆受講料：1名につき49,980円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
 ・1名でお申込みされた場合、1名につき**47,250円**
 ・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,980円)**
 ※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。
 (ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-3599-5812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：タテイシコンサルティング・インク 代表社員 理学博士(化学) 立石 満 氏

[ご略歴] グレラン製薬(株)、日本ロシュ(株)、アップジョン(株)、根元サイエンス(株)を経て、2001年8月タテイシコンサルティング・インク 設立
 [ご専門] 薬物動態

[講座のポイント]

In vitroにおいて望ましい薬理作用が認められたとしても、経口投与製剤では吸収されなければ、医薬品としての価値はありません。従って、経口投与医薬品の開発ではその吸収をいかに担保するかが重要であり、吸収に関与するトランスポーター等に対する知識は医薬品開発にとり極めて重要です。さらに、薬物は多くの場合生体にとって異物であり、生体は薬物を取り込んだ瞬間からいわゆる解毒を目指した活発な反応を開始します。一方、ヒトは薬効を期待して薬物を服用するため、代謝、排泄を受ける前に薬効を発揮させる必要があります。医薬品開発の難しさの一つは、この相反する事象にあり、薬物動態研究の重要性はいかにしてこの点を克服するかにあると言っても過言ではありません。また、臨床の現場では複数の医薬品が投与されることも多く、そのような場合薬物相互作用に基因する副作用が発現し、生命が脅かされる事態も起きています。

本講座では、以上のような医薬品開発及び実際の服用において考慮すべき薬物動態学的観点を、最新の情報に基づいて解説いたします。

[習得できる知識]

薬物吸収に影響を与える因子、体内分布、薬物代謝に関与する酵素、排泄パターン、薬物動態からみた薬物相互作用と臨床。

[プログラム]

- はじめに
- 薬物吸収に影響する因子
 - 薬物に由来する要因
 - 安定性
 - 溶解性/脂溶性
 - 生体に由来する要因
 - 初回通過効果
- 血中濃度及び体内動態
 - 血中濃度
 - 分布容積
 - バイオアベイラビリティ

- 3-1-3 全身クリアランス
- 3-1-4 半減期
- 3-1-5 血漿蛋白結合
- 3-2 組織分布
 - 3-2-1 組織分布を規定する要因
4. 代謝
 - 4-1 第I相代謝反応と関連酵素
 - 4-2 第II相代謝反応と関連酵素
 - 4-3 代謝に影響する因子
 - 4-1-1 加齢
 - 4-1-2 腎及び肝機能障害
 - 4-1-3 人種差
 - 4-4 代謝酵素に由来する薬物相互作用

5. 排泄
 - 5-1 排泄様式
 - 5-2 排泄に影響する因子
 - 5-1-1 加齢
 - 5-1-2 腎及び肝機能障害
6. 薬物動態を考慮した創薬
 - 6-1 プロドラッグ
 - 6-2 製剤化における留意点

【質疑応答・名刺交換】

『薬物動態入門』セミナー申込書

会社・大学			
住 所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。		<input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送	

●セミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>
 個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>